

開催案内

マンスリーセミナー

403	12/20 (火)	太陽光発電の最新動向	株式会社資源総合システム 調査事業部長 上席研究員 貝塚 泉 氏
<p>(内容) 2015年の世界における太陽光発電世界市場は50GWとなり、2016年はさらに成長する見込みである。中国、米国、日本などの主要市場に加えて、南米や中東などでも太陽光発電の導入が開始されている。本セミナーでは、太陽光発電市場及び太陽光発電産業の最新動向や新たなビジネスモデルなどを解説する。</p>			
404	1/17 (火)	先端光技術でセレンディピティの計画的創出	東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻 教授・専攻長 合田 圭介 氏
<p>(内容) 世の中は平均値であふれている。平均年収、平均気温、平均点、平均寿命、平均体重、日経平均株価。しかし、平均値は集団を代表する値とは限らない。この問題は特に生命科学において顕著である。従来のバルク(集団)で行う分析では、平均値の比較で差が出ないため、同種の癌細胞の薬剤耐性や同種の微細藻類細胞の代謝物の生産性の違いを調べることが出来ず、医療や産業への応用を行うことが出来ない。本講演では、この根本的な課題を解決するために、私がプログラムマネージャーとして推進している内閣府革新的研究開発推進プログラム ImPACT「セレンディピティの計画的創出」において開発中の先端光技術を基軸とした超高速1細胞分析技術の紹介と進捗報告を行う。</p>			
405	2/21 (火)	レーザプリンタ用VCSELアレイとVCSELの応用	株式会社リコー リコー未来技術研究所 技師長 佐藤 俊一 氏
<p>(内容) 面発光レーザは、低消費電力、二次元アレイ化が可能、LED並みの簡単なプロセスで高性能化が可能、ウェハ単位での性能試験が可能であるなど、従来の端面発光型半導体レーザに比べて多くの利点がある。本講演ではこのような特徴を生かして、デジタル商業印刷分野に適用できるプリンタの書き込み光源として開発した面発光レーザアレイについて報告する。単一方向偏光制御と大きなシングルモード出力を達成し、4800dpiの高精細で150ppmの高速印刷可能な光源を実現した。また、センサー応用や高出力VCSELアレイ化などリコーにおけるVCSEL応用や、市場動向についても紹介する。</p>			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3番出口）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階
時間：午後3時30分～5時30分
定員：60名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参加料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）
申込先：光産業技術振興協会 開発部 間瀬
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp